

	課題分析	授業改善策
国語	表現力について、形式に沿った文章を書くことはできるが、学習を応用して表現する力に課題のある生徒が見られる。読書量も少ないため、まずは読書に繋げる働きかけが必要である。	各単元の学習で、学びを生かした課題作文や口頭発表など、表現の場を増やす。また、全校で俳句の創作に取り組むなど、表現力の向上を目指す。昨年度に引き続きビブリオバトル等、読書推進となる活動も取り入れる。
社会	授業への取り組みは意欲的で、社会的な事象に対する関心が見られる。資料を読み取り、特色を関連付けて課題を探求する活動を通し、社会的な見方・考え方を身につけさせることが必要である。	様々な資料、新聞等を活用し、数値、変化を読み取り、テーマを決めてグループで話し合ったり、発表する活動を取り入れる。授業プリントで課題解決学習に取り組み、思考力・判断力・表現力を養う。
数学	授業中の学習姿勢はよく、意欲的に学習に取り組んでいる。知識や計算技能については一定の成果が見られる。思考力や判断力、表現力を授業で身につけさせることが課題である。	教科書別冊である「探求ノート」を授業で扱い、グループ学習などを通して対話的な学びを実現させ、思考力や判断力の育成を図る。また、レポート課題などを計画的に取り入れ、表現力の育成を図る。
理科	授業、特に観察・実験に意欲的に取り組んでいる。また、基礎的な知識は定着している。課題としては、科学的な考察や、論理的にまとめる力が不足していることなどがあげられる。	観察や実験結果の考察をまとめ、考察を発表し、グループなどで意見交換を行う。これらの活動を通して、科学的な考察や、論理的に文章をまとめる力を養う。
音楽	全学年を通じて、意欲は十分にあり、特に鑑賞領域で、自らの感じ取りや思いを文章として表現する力が認められる。しかし、表現領域において基礎となるべき読譜力に欠ける生徒が多い。コロナウィルス感染の影響により、実技に取り組むことが困難な中、「自分が発する音」と「楽譜の関係性」を大切に指導を行う必要がある。	1年：複数の小学校から生徒が集まるため、各自が身につけた「基礎力の再確認」を行いながら、読譜の基礎である音符・休符などの記号を確認する。 2年：昨年度の既習曲にも触れながら、具体的に発せられた音と楽譜の関係を結びつけられるような指導を行う。 3年：積極的にグループ活動を取り入れ、基礎的な読譜力の確認を織り交ぜながら、お互いの感じ取りや思いを共有できる授業を工夫する。
美術	授業への姿勢が良く丁寧に制作する意識がある。作品の改善が必要な点を見出す力や他の作品から良い点を取り入れる力にやや課題があり思考力、判断力、表現力の向上を目指したい。	制作途中での鑑賞を設定する。生徒同士で互いに作品について意見交換することで改善点を考えるきっかけにする。友達の作品の良さを考察、分析し、自分の作品の改善点につなげられるようなワークシートを活用する。
保健体育	何事にも積極的に取り組もうとする生徒が多い。しかし緊急事態宣言等の影響もあり、体力向上が進んでおらず、運動能力の差も大きくなっている。個性や能力の把握を意識した指導を心がけ、体力や技能の向上に努めていく。	個人やチームの課題に対して、生徒が自ら課題解決に向けて取り組むことができる授業を展開する。また個の能力に応じて教員から指示や助言、サポートをおこなう。男女共習の授業を行い、性差を理解し互いに協力できる授業を展開する。

<p>技 術 ・ 家 庭</p>	<p><技>製作への意欲はあるが、思考力・表現力にやや課題がある。</p> <p><家>与えられた作業に関しては意欲的であるが、それを発展させ作品等に生かすことが難しい。</p>	<p><技>作品の製作前に、様々なイメージが描けるような工夫をする。等角図の練習を繰り返し行い、構想した作品を図で表現できるようにする。</p> <p><家>身につけた知識を作品や実生活で活用するために、具体例の提示や個々に応じたアドバイス等をする。</p>
<p>外 国 語</p>	<p>形式に沿ったライティング活動や、スピーキング活動には積極的に取り組むことができる。基礎的な知識・技能は定着しているが、思考力や判断力、表現力が課題である。</p>	<p>ライティング活動やスピーキング活動を即興で行う機会を授業内で取り入れる。既習の文法事項や単語を使って、自分の考えを表現するパフォーマンステストを単元に応じて設定する。</p>